

JAIPA Report

Vol.2
2025.Oct

定時総会

2025年JAIPA定時総会（第25回）開催

去る2025年6月25日、主婦会館プラザエフにて、第25回となるJAIPA定時総会を開催いたしました。当日は多くの会員にご出席いただき、会場の席はほぼ満席となりました。

開会宣言に続き、久保会長の挨拶の後、以下の議題について審議を行いました。

第1号議案：2024年度事業・部会活動報告（案）承認の件

第2号議案：2024年度決算報告（案）承認の件

第3号議案：2025年度理事・監事（案）承認の件

第4号議案：2025年度事業・部会活動計画（案）承認の件

第5号議案：2025年度予算（案）承認の件

すべての議案は、ご出席の皆様から満場一致で承認されました。総会は終始活発でありながらもスムーズに進行し、JAIPAの今後の活動に対する会員の皆様からの期待と熱意を感じる場となりました。

総会後には懇親会も開催され、会員間の交流が深まり、2025年度に向けたさらなる盛り上がりを見せて閉会いたしました。



新理事紹介

2025年JAIPA定時総会（第25回）において、役員が下記のとおり選任され就任いたしました。

会 長

久保 真 ビッグロープ株式会社

副会長

大槻 智行 GMOインターネット株式会社

立石 聡明 有限会社マンダラネット

田中 邦裕 さくらインターネット株式会社

常任理事

生野 勇貴 BBIX 株式会社

小畑 至弘 IoT-EX株式会社

今野 仁史 イーブロードコミュニケーションズ株式会社

晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社

竹内 勝幸 株式会社シナプス

中村 俊克 株式会社TOKAIコミュニケーションズ

中山 いその 株式会社フューチャーネットワークス

濱谷 規夫 ソフトバンク株式会社

早瀬 聡 KDDI株式会社

横田 洋人 株式会社アットアイ

理 事

青木 正貴 アルテリア・ネットワークス株式会社

井上 太郎 彩ネット株式会社

大津 康史 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

藤嶋 久 NTTコミュニケーションズ株式会社

永田 勝美 株式会社NTTドコモ

野口 尚志 EditNet株式会社

本間 誠治 株式会社新潟通信サービス

松下 和弘 株式会社イブリオ

松本 昇 株式会社シーエスファーム

宮内 正久 KROW株式会社

村田 篤紀 合同会社DMM.com

監 事

植田 裕之 株式会社ネットフォレスト

金子 康行 株式会社グローバルネットコア

竹内 勝之 サイバーソリューションズ株式会社



イベント報告

JAIPAの集い in 鳥取

開催日：2025年5月29日(木)・30日(金)

場 所：とりぎん文化会館 小ホール

協 力：有限会社ウイル（ハルインターネット）

協 賛：テルストラ・ジャパン株式会社、一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会(JUSA)、BBIX株式会社、レンジャーシステムズ株式会社、GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社、株式会社Jストリーム、株式会社ファミリーネット・ジャパン

後 援：鳥取県、鳥取市、中国総合通信局、鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク、鳥取県インターネットプロバイダ防犯連絡会

参加者：170名

鳥取県で初の開催となった「第59回JAIPAの集い」には、2日間で延べ170名の方々にご参加いただきました。

講演では、人口減少や少子高齢化の課題を抱えながらも、積極的なデジタル化とAI活用により人手不足を補う鳥取県の試みや、世界で唯一「砂像彫刻」専門の展示をおこなう「砂の美術館」の砂像の魅力など、開催地ならではの貴重な



話をご紹介いただきました。

また、地域ISPの需要と課題、生成AIの活用、今後のIT戦略に関する話題では、参加者同士の活発な議論が交わされました。

2日目には自動車に関する講演が続く場面があり、コネクティッドカーの継続利用における課題やバスの自動運転の取り組みなど、自動車産業とインターネットの関わりについての話題に、参加者の方々が興味深く耳を傾けていました。

さらに、両日の夜に開催された懇親会では、参加者同士がさらに親交を深めるとともに、新たな交流が生まれるなど、大変盛り上がりしました。



今回の集いの準備をしてくださったプログラム委員の皆さま、鳥取県の関係団体の皆さま、登壇者の皆さま、そしてご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

広報PR部会 鈴木理那



イベント報告

ICTフォーラム2025 in 種子島

開催日：2025年7月9日(水)～11日(金)

場 所：西之表市民会館

協 賛：株式会社エヌ・エフ・ラボラトリーズ

参加者：96名

<https://www.jaipa.or.jp/topics/2025/05/ict2025in-1.php>

2007年から始まったICTフォーラムも今年で18年目を迎え、第19回目の今回は鹿児島県種子島での開催となりました。トカラ列島の群発地震や霧島連山の新燃岳の噴火などの懸念事項もありましたが、96名の方にご参加いただいて盛況のうちに終了できました。ひとえにICTフォーラムに対する多くの方のご期待とご支援の賜物と感謝申し上げます。

今回もICTフォーラムに相応しく、新サイバー防御法、オンラインカジノブロッキング、ウクライナ情勢を踏まえたサイ

バー防御、宇宙空間でのビジネス、JAXAの取り組み、種子島の歴史・文化など、通信業界を取り巻く状況の変化から種子島ならではの幅広いテーマの講演があり、参加者の興味が尽きることはありませんでした。また種子島開発総合センター「鉄砲館」やJAXA種子島宇宙センターの見学などを通して、種子島の魅力と貴重な機会を存分に味わうことができました。

そしてICTフォーラムには欠かせない懇親会にも多くの方にご参加いただき、美味しい料理とお酒をいただきつつ参加者同士の交流を深めることができました。普段の業務では余り縁のない方々とも話に花が咲き、新たなつながりも生まれたことと思います。



ご参加いただいた皆様、ご登壇いただきました講師の皆さまに心より感謝申し上げます。また開催にご尽力いただいたプログラム委員の皆様にも厚く御礼申し上げます。

広報PR部会 植田裕之



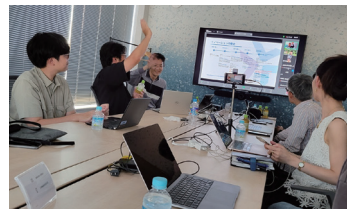
部会報告

AIワーキンググループは2024年11月に発足

AIの取り組みは個社で行うよりも、JAIPAを活用することで課題の解決が早まり、チャンスをより確実に捉えられる——そうした目的のもとで、AIワーキンググループはスタートしました。

AIがインターネットビジネスに与える影響を洗い出し、その対応方法を検討することに加えて、AIを活用した新たなビジネスの創出やコスト削減にも取り組みます。さらに、AIに関連するセキュリティやプライバシーの課題にも目を向け、より良い環境の整備を目指します。

毎月の定例会にて勉強会・事例紹介・最新動向検討・情報共有を実施しており、毎回25人〜30人が参加し、活発な質疑応答などもあり、参加企業のAIに対する取り組みが変化しつつあります。



これまで開催された勉強会・事例紹介

- ・BIGLOBEでの生成AI活用事例のご紹介
- ・さくらインターネットAIプラットフォーム構想
- ・個人開発RAGの知見で切り拓くDMMベクトル検索の導入に向けて
- ・NTTコミュニケーションズ生成AIやRAGの精度を高めるデータ構造化技術
- ・NTTドコモのAIに関する取り組みについて
- ・AXLBIT社Profet AI AutoMLのご紹介
- ・GovTech東京と東京都のAIに関する取組
- ・「AI事業者ガイドライン」を中心に関連した政府動向について
- ・InfiniCloud社から「LLM周りをちょっと学ぶ」



しばらく勉強会を実施しますが、今後の動向としては課題を絞り込み、課題に対する成果を創出していきます。

AIワーキンググループ 中山いその

部会報告

モバイル部会主催「夏合宿 in 野反湖 2025」

日時：2025年8月7日（木）～9日（土）

場所：野反湖キャンプ場

参加人数：15名

モバイル部会では、メンバー間の交流と親睦を深めることを目的に、昨年に引き続き野反湖キャンプ場で夏合宿を実施しました。

今年は集合時間を30分遅らせ、余裕をもって開始。初日はBBQを楽しんだ後、スターリンクを設置しその通信で恒例の映画鑑賞を行いました。ストリーミングでのデータ通信量は約10GBに及びましたが、安定した通信速度を確保。持ち込みプロジェクターにて映画『イージー・ライダー』を鑑賞し、一体感を感じる夜となりました。



通信量は約10GBに及びましたが、安定した通信速度を確保。持ち込みプロジェクターにて映画『イージー・ライダー』を鑑賞し、一体感を感じる夜となりました。

2日目は、前回同様に「ここでしか聞けない」濃密な内容の勉強会を実施。タイのモバイル環境に関する海外調査の報告や、MVNOの最新動向、農業IoT、5GのMVNO接続、さらにはNTTドコモのセキュリティや品質改善に関する取り組みなど、多岐にわたるテーマで知見と課題感を共有しました。モバイルに関連する様々な視点からの最新情報に触れる貴重な機会となりました。

▼参加者の声

参加者からは、野反湖の素晴らしい環境と、密度の濃い勉強会合宿への高い満足感が寄せられました。「来年が待ち遠しい」という声が多数挙がり、次回開催への期待も高まっています。



モバイル部会 高橋穰児

新規入会会員紹介

■株式会社秋田ケーブルテレビ

<https://www.cna.ne.jp/>

■特定非営利活動法人ゆうとぴあネット

ゆうとぴあネット (<http://www.yutopia.or.jp/>)

■メディアサプライ・インターナショナル株式会社

<https://www.media-si.co.jp/>BBM-NET. (<https://www.bbm.ne.jp/>)

■エックスサーバー株式会社

<https://www.xserver.co.jp/>エックスサーバー (<https://www.xserver.ne.jp/>)

■株式会社ナック・ロード

<https://knackroad.com/>

■株式会社FORNEXT

■株式会社21Company

<https://21Company.com/>21IP.jp (<https://21ip.jp/>)

(2025年2月～8月)

当協会の意見

■「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方 最終答申（案）」に対する意見書を提出（2025年1月8日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250108.pdf

■「第二号基礎的電気通信役務の提供に係る第二種交付金及び第二種負担金算定等規則案等」に対する意見を提出に対する意見書を提出（2025年1月15日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250115.pdf

■「接続料の算定等に関する研究会（第92回）」プレゼンを実施（2025年1月27日）

<https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/pdf250127.pdf>

■東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の第一種指定電気通信設備に関する接続約款の変更案に対する意見を提出（2025年2月20日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250220.pdf

■「接続料の算定等に関する研究会（第96回）」プレゼンを実施（2025年5月30日）・関門系ルータ交換機能の接続料の算定方法につきまして

<https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/pdf250530.pdf>

■「IPネットワーク設備委員会報告（案）」に対する意見を提出（2025年7月14日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250714.pdf

■「接続料の算定等に関する研究会 第九次報告書（案）」に対する意見を提出（2025年7月30日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250730.pdf

■「オンラインカジノに係るアクセス抑止の在り方に関する検討会 中間論点整理（案）」に対する意見を提出（2025年8月15日）

https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/iken_250815.pdf

■「情報通信審議会 電気通信事業政策部会 ユニバーサルサービス政策委員会」プレゼンを実施（2025年8月21日）

<https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/pdf250821.pdf>

■「情報通信行政・郵政行政審議会 電気通信事業部会 市場検証委員会（第3回）」プレゼンを実施（2025年9月3日）

<https://www.jaipa.or.jp/comment/pdf/pdf250903.pdf>

政策動向／業界動向

ユニバーサルサービス

2022年の電気通信事業法の一部改正(※)に基づき、ユニバーサルサービスについて、既存の電話サービスに加え、ブロードバンドサービスが対象となり、2026年からの実施に向け、政省令や交付金・負担金に関する取扱機関（(一社)電気通信事業者協会。略称TCA）等において、課題整備・検討が進められています。

対象となるブロードバンドサービスを提供する事業者の観点では、

- ・ ユーザ向けの規約・契約約款を総務省に届け出る（契約回線数が30万以上の事業者に限る）
- ・ 総務省の報告規則に基づき契約数を報告する
- ・ 負担金をTCAに支払う（NTT東西殿のコラボ光を卸受けている場合は東西殿に支払う）
- ・ 負担金をユーザに転嫁する場合は、ユーザに請求する

といった事が業務として追加されて来ます。

現在、残っている課題は、単価(1契約回線あたり月何円負担するか)と最終保障提供責務の2つが大きいものと思われます。単価は年内に発表される見通しですが、最終保障提供責務については総務省ユニバーサル政策委員会で現在も継続議論されており、第41回(7月18日)に事務局から課題が提起され、第42回(8月7日)に事業者(MNO)・第43回(8月21日)に事業者(電力系)及びJAIPAを含む業界団体から、提起された課題に対してプレゼンを行いました。最終保障提供責務は、端末回線設備設置事業者に影響が有り得るため、JAIPAも継続して制度議論に関与していく予定です。

(※)「電気通信事業法の一部を改正する法律」（令和4年法律第70号。2022年6月公布・2023年6月施行）

ほか総務省会議関係(NTTデータ再編、パブリッククラウド)

旧来の電気通信市場検証会議から、2025年7月に情報通信行政・郵政行政審議会 電気通信事業部会配下に改めて設置された市場検証委員会において、NTT(株)による(株)NTTデータグループの完全子会社化（2025年5月発表）の検証が始まりました。JAIPAも、9月3日に久保会長によるプレゼンを実施しました。

特にJAIPAで用いた主張フレーズ「無形の力」については、会議参加者から賛同の声が寄せられた事もあり、今後の政策形成においてキーワードとなるかも知れません。

また、IPネットワーク設備委員会では、第88回（2025年6月24日）にて、従来から議論されて来た端末機器の技術基準等への適合性に係るセキュリティ基準見直しに加え、電気通信事業におけるパブリッククラウドシステム利用について、作業班を設置する事が決まりました。これは、電気通信事業者の中には他社の提供するクラウドサービスの活用にメリットを感じる者が存在する一方で、通信の秘密の関係から他社サービス上でデータを扱うこと、役務の安定的な提供が可能であるか等の観点から、利用を躊躇したり不安を感じるなどの課題を感じる者もいて、利用の阻害要因となっているのではないかという課題認識のもと、役務の安定的な提供及び通信の秘密を念頭に置き、電気通信事業者とクラウド事業者との協力や技術基準等の在り方について検討を行うものとされています。

政策WTのスタート

我が国の制度・政策の決定プロセスに於いては、法律制定・改正の有無を問わず、有識者や関係ステークホルダーをメンバーとする会議が主たる場となります。各省庁や、それを束ねる内閣府の会議は、相当な数に上ります。これら全てをウォッチする事は実際問題不可能に近く、これらのうち当協会会員に影響するものに限るとしても限度があります。（掲載図参照）

JAIPAの中心は会員企業であり、制度・政策の決定プロセスに発言力・影響力を持って関与して会員企業の声を届けて行く使命感のもと、JAIPA内の部会を横断する格好で政策WT（ワーキングチーム）を立ち上げました。政策WTは従来の部会・WGといった会議体ではなく、これらをつないで行政に橋渡しして行くことが主眼となりますので、会員様のご協力をいただく事がエンジンとなりますため、関係皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。



政策WT主査 濱谷規夫

会員企業紹介

◆ NTTドコモビジネス株式会社

1999年に長距離・国際通信・インターネットを提供する会社として誕生し、グローバル・ソリューション・データセンター・セキュリティなど、常に新しい事業へのチャレンジを続け、長距離通信の会社から総合ICTソリューションカンパニーへと事業を進化させてまいりました。2022年にはNTTドコモ、NTTコムウェアと一体になり、モバイルやソフトウェアという新たなクイパリティを加え、法人事業ブランド「ドコモビジネス」のもと、事業を拡大してきました。

このたび(2025年7月)、すべての企業のお客さまの経営課題や産業・地域課題を解決する「産業・地域DXのプラットフォーム

マー」をめざして「NTTコミュニケーションズ株式会社」から「NTTドコモビジネス株式会社」に社名を変更しました。社名は変わりますが、NTTグループの総合ICT事業を牽引するため、NTTグループのアセットをワンストップでソリューションとして提供する役割、私たちのDNAは変わりません。

今後も、ネットワークやモバイルにとどまらず、最先端のテクノロジー・イノベーションを駆使し、企業と地域が持続的に成長できる自律分散型社会を支えて、お客さまに「驚きと感動」をお届けできるよう、より一層の努力を重ねてまいります。



<https://www.ntt.com/index.html>



1996年当時のOCNエコノミー用ルーター
(撮影場所：NTT技術史料館)

OCNは、2026年に30周年を迎えます

◆ イッツ・コミュニケーションズ株式会社

イッツ・コミュニケーションズ株式会社(イッツコム)は、東急線沿線を中心に、東京・神奈川エリアで、インターネット、テレビ、電話を中心とした通信・放送事業を展開しています。1983年に東急有線テレビ株式会社として設立、2001年に現社名に変更。今年で設立38周年となる東急グループの企業です。当社のサービスエリアに暮らす約148万世帯のうち、約100万世帯と接続し、約5世帯に1世帯が当社のインターネットサービスを利用するなど、地域の人々の身近な暮らしに欠かせない生活インフラとして活用いただいています。

法人向け事業では、渋谷駅周辺ビル的大型ビジョンや東急線車両ドア上のデジタルサイネージ、フリーWi-Fiおよび基幹通信回線、行政と連携した防災ソリューションなどを提供するほか、Jリーグをはじめとする地域スポーツチームのパートナーとして番組制作や試合時の通信環境整備のサポートなど、多彩な商品・サービスを提供しています。

イッツコムは、デジタルと地域の力を融合させた取り組みにも積極的に挑戦し、サステナブルな未来を目指しています。



住所：東京都世田谷区用賀4丁目10番1号
世田谷ビジネススクエアタワー22F
URL：<https://www.itscom.co.jp/>

◆ ソピアフォンス株式会社

ソピアフォンスは、1995年に茨城県鹿嶋市を拠点として創業した、地域密着型のインターネットサービスプロバイダです。

社名は、ギリシャ語で「知恵(ソピア)」、ラテン語で「泉(フォンス)」を意味する言葉を組み合わせた「知恵の泉」という造語に由来します。

通信を通じて、人々の暮らしに豊かさという知恵を絶えず提供したいという企業理念を掲げています。

長年にわたり、地域のお客様のデジタ

ルライフを支え、快適なインターネット環境の構築に貢献してまいりました。

単に高速で安定した回線を提供するだけでなく、顔の見えるサポート体制を強みとしています。

お客様一人ひとりのニーズに寄り添い、技術的な課題を丁寧に解決することで、深い信頼関係を築き上げてきました。

地域社会との共存共栄を重視し、知恵の泉として、これからも通信技術の発展とともに、地域社会のさらなる発展に貢献してまいります。



設立：1995年12月

社員数：5人

住所：茨城県鹿嶋市宮中2-6-22

URL：<http://www.sopia.or.jp/>

～ People People ～

セイコーソリューションズの鈴木と申します。JAIPAとの関わりは20年以上前に遡ります。セイコーインスツルメツ時代にNS-2484-10という、インターネットにダイヤルアップやPHSで接続する際にISP側に配備されるPPPの終端装置を販売しておりました。当時はインターネットのアクセスポイントを地域のISPさんが各地域に作っていたので、JAIPA会員のISPさんが殆どお客さんの時代でした。そこでJAIPAという組織があることは知っていたのですが、我々の製品がインターネット側から広域Ethernet用の装置に主軸を移したこともあり、しばらくJAIPAとの繋がりは疎遠になった時期もありました。2012年～13年ごろから故石田卓也さんに誘われ、集いなどのイベントに出ることも多くなり、そこからクラウドカンファレンスや各部会などにも参加させていただいております。



往年の名機 NS-2484

私個人としては、2x年通信事業者向けのメーカー営業をしており、2015年から海外市場への挑戦を開始し、現在も日本国内と海外市場開拓の2刀流を続けておりますが、JAIPAで得た知見や人脈は色々なところで刺激を与えてきました。インターネット黎明期のサービスを創り上げてきた方々や、同世代でも色々なフィールドで活躍する方々、あるいは普段の業務では関わることの少ない通信行政を担っている方々など、多種多様な人々との出会いを提供してくれており、たくさん学ばせていただいております。

JAIPAの活動の中でも印象に残っているのは、各国への



海外調査です。今まで台湾、シンガポール、オーストラリア、タイを訪問してきました。各国のモバイル、インターネットのレギュレーターや事業者などとの議論や情報交換は自身の視野を広げてくれただけでなく、現在この業界で何が起きているのかを立体的、多面的に理解を促してくれました。



今後も日本のインターネット業界に少しでもお役に立てるような活動、フィードバックなどをさせていただけるよう、微力ながらお力添えしていきたいと思います。

飲み会の写真が多いのはJAIPAの特性もありますが、そこで議論が深まることも多く、コミュニティ内の活動としては不可欠であると日々実感させていただいておりますので、皆さま引き続きよろしくお願いいたします。



セイコーソリューションズ株式会社 鈴木康平

主な行事一覧

https://www.jaipa.or.jp/active/active_index.php

- 5月29日(木)～30日(金) 第59回JAIPAの集いin鳥取
- 6月25日(水) 2025年定時総会 (主婦会館プラザエフ)
- 7月9日(水)～11日(金) ICTフォーラム2025in種子島
- 8月7日(木)～9日(土) モバイル部会夏合宿@野反湖
- 9月3日(水) クラコンスポンサー交流会
(マリーグラン赤坂 GLANDEAL)
- 9月12日(金) 地域ISP部会in湯沢

役員一覧

<https://www.jaipa.or.jp/about/director.php>

会員企業一覧

<https://www.jaipa.or.jp/member/>

全国プロバイダー一覧

<https://www.jaipa.or.jp/isp/>

JAIPA入会のご案内

JAIPA（一般社団法人インターネットプロバイダー協会）はインターネットプロバイダーからなる日本で唯一の業界団体です。

- ・インターネット接続サービス（ISP）事業者
- ・クラウド、ホスティング事業者
- ・セキュリティや情報通信インフラ構築等の各種サービスを提供する事業者

など、インターネット関連事業者で構成されています。業界での事業者間の情報交換、勉強会、各種交流活動に加え、

- ・NTT東西FTTHの輻輳問題、光コラボの工事の問題
- ・インターネットのトラフィック増大問題、CDNとのピアリング問題
- ・最新のサイバーセキュリティやインターネットのAbuse問題の動向
- ・総務省の消費者保護ルールの動向、弁護士からの開示請求などの対応

などについて日々取り組んでいます。

会員になっていただくと…

事業間のネットワークを広げ、事業運営に役立つ情報を得ることができます。

より多くの方と力を合わせ、業界課題の解決に取り組みたいと考えております。

年会費：事業規模に応じて 6万円/年 ～

ご興味・ご関心のある方は、お気軽にお問合せください！

お問い合わせ：info@jaipa.or.jp

【アンケートのお願い】

今号のご意見・ご感想がございましたら、下記までお寄せください。

<https://forms.gle/HyKyAayHdmiuvqcR9>



広告

インターネット接続サービス安全・安心マーク

<https://www.isp-ss.jp/>



安全安心



私たちは「安全・安心マーク」の普及を信じて、インターネット接続サービスにおける信頼性を確保し、だれもが安心して楽しめるネット環境の実現に取り組んでいます。

1. セキュリティポリシーの確立及び監査制度の導入
2. システムのセキュリティレベル
3. トラブル発生時の対応体制の確立
4. 利用者向け契約約款等の整備と公表
5. ユーザ対応体制の整備
6. 利用者に対する周知・啓発等の取り組み
7. 個人情報保護に関する取り組み

インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

構成団体：一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人電気通信事業者協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

JAIPAの会報誌「JAIPA Report Vol.2」をお届けできることを、大変嬉しく思います。

前号に続き、制作のお手伝いをさせていただきました。事務局のTさんにご指導いただきながら、今号も「どうすればJAIPAの魅力をもっと伝えられるか」を追求しました。グラを拝見していると、皆さんの活動の熱量がひしひしと伝わってきます。

AIワーキンググループの活発な勉強会の様子、野反湖でのモバイル部会の夏合宿で育まれた深い絆、そしてJAIPAの活動を支えてくださる会員企業の皆様の紹介記事。それぞれが個性的でありながら、JAIPAというコミュニティの多様性とパワーを雄弁に物語っています。また、政策動向に関するページでは、JAIPAが業界の声を代表し、ユニバーサルサービスやNTT再編といった重要課題に積極的に関与している様子をご紹介しました。こうした地道な活動一つひとつが、私たちの業界の未来を築いているのだと改めて感じています。

このレポートが、会員の皆様の活動を振り返るきっかけとなり、そしてこれから入会を検討されている方々にとっても、JAIPAの魅力が伝わる存在になれば幸いです。

ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。至らぬ点もあったかと思いますが、皆さまからのご意見・ご感想は、今後の制作の大きな力となります。ぜひ、忌憚のないご意見をお寄せください！

（広報PR部会 高橋穂児）

JAIPA Report 2025 Oct.(Vol.2)

2025年10月10日発行

□ 発行

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA）
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル6F
TEL：03-5304-7511 FAX：03-3379-5530
URL：https://www.jaipa.or.jp/ E-mail：info@jaipa.or.jp

□ 編集

広報PR部会・事務局

□ 制作・印刷

フジサービス株式会社
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8

